

平成22年度事業
夢たま補助金(市民提案型まちづくり事業補助金)

成果報告書



多摩市 くらしと文化部市民活動支援課

平成23年7月

目次

「多摩市市民提案型まちづくり事業補助金」の概要.....	1
審査・評価の方法	1
審査委員(第3期).....	2
平成22年度応募事業の経過	3
平成22年度 多摩市市民提案型まちづくり事業補助金 交付額・精算一覧表	4
各事業の成果(以下事業名)	
<チャレンジ部門>	
(1)キラ★キラmamaのハッピースクール	5
(2)60歳からの演劇	7
(3)Concert in 多摩	9
(4)生涯学習を通じたまちづくりと人づくり「東京にしがわ大学」開講へのキックオフイベント	11
<ステップアップ部門>	
(1)運動会、レクリエーション等の立案企画とその実施.....	13
(2)団地住民の参加する野菜畑作り事業.....	15
(3)ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に.....	17
(4)老人・患者・障害者とその介護・看護者に笑顔と元気を！	19
(5)多摩に舞い降りた天女たち	21
(6)貝取こぶし館とその周辺の美化と癒しの環境づくり	23
(7)ホテルを蘇らせ自然環境を大切にしよう.....	25
(8)tamaROCK(タマロック)	27
(9)「赤ちゃんや幼児がいる家庭の防災啓発プロジェクト」ABo.....	29
(10)市民がつくる生活安全安心マップ	31
(11)古典芸能オモシロ講座	33
(12)実践的かつ自律的な自主防災訓練	35
(13)第4回ニュージーランド・中学生語学研修	37
(14)「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト ver5.0	39

夢たま補助金 募集!

平成22年度交付対象事業(市民提案型まちづくり事業補助金)

多摩市のまちづくりに役立つ事業を応援します。

「夢たま補助金」(市民提案型まちづくり事業補助金)は、「市民が思い、市民が主体となって、多摩市のまちづくりに役立つ事業を応援する事業です。福祉・子育て、文化・環境などの民生の分野を中心とした事業が対象です。補助金は、「たまたま」の「夢たま補助金」は、平成22年度に、事業費の一部を補助するものです。

※詳しくはホームページをご覧ください。

対象となる事業の種類

- ・ 市民活動の推進
- ・ 市民活動の活性化
- ・ 市民活動の普及
- ・ 市民活動の連携
- ・ 市民活動の支援
- ・ 市民活動の育成

※詳しくはホームページをご覧ください。

対象となる事業の条件

- ・ 1人以上以上で構成される
- ・ 多摩市に住所を有する
- ・ 福祉・子育て、文化・環境などの民生の分野を中心とした事業

※詳しくはホームページをご覧ください。

事業内容・お申し込みの受付

- 受付期間：平成22年度
平成21年12月
- 受付場所：
①市民活動センター
②市民活動推進センター
③市民活動推進センター
④市民活動推進センター
⑤市民活動推進センター
⑥市民活動推進センター
⑦市民活動推進センター
⑧市民活動推進センター
⑨市民活動推進センター
⑩市民活動推進センター



平成22年度「夢たま補助金」は、市民団体が自主・自発的に行う、多摩市のまちづくりに役立つ事業に対して、その事業費の一部を補助するもので、各団体から提案された「申請書類」による審査と、「公開によるプレゼンテーション」によって、お

当日は、
「夢たま補助金」
の魅力を
多くの方に
お伝えします。

平成21年12月
公開プレゼンテーション
会場：開戸公民館市民ロビー
応募事業：
※受付会午後3時30分
会場：開戸公民館活動室

夢たま補助金(市民提案型まちづくり事業補助金) 22年度事業成果報告会

日時：平成23年7月3日(日)

場所：開戸公民館市民ロビー
市民活動情報センター
(聖蹟桜ヶ丘グリーンプラザ7階)



〔第1部〕成果報告：開戸公民館市民ロビー

(午後1時～3時25分)

22年度にこのまちづくり補助金を使って事業の成果をどんなことができたのか...各団体の活動写真と成果報告書にご参加ください。いろいろな活動写真のチャンス!! みんなで盛り上げよう!!

〔第2部〕情報交換会：市民活動情報センター

(午後3時35分～5時30分)

<テーマ> 事業成功のヒントがあるかも!!

(事業を成功させるために、みんなの意見を聞いてみよう)
事業を成功させるための苦戦や悩みを工夫していることなど、情報交換することで他のヒントが実現できるかもしれません。そして、団体同士でのネットワークづくりの絶好のチャンスです。



【問合せ】市民活動情報センター
住所 〒206-0011
多摩市開戸4-72 聖蹟桜ヶ丘グリーンプラザ7階
TEL 042-376-8312
FAX 042-339-0491

「夢たま補助金(多摩市市民提案型まちづくり事業補助金)」の概要

この補助金は、市民団体が自主・自発的に行う、多摩市のまちづくりに役立つ公益的な事業に対し、事業の経費を一部補助するもので、多摩市に「新たな支え合い」の担い手を多数創出して、地域の公共サービスを豊かに展開していくことを目指したものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（多摩市市民提案型まちづくり事業補助金評価市民委員会）による厳正な審査を経て決定します。

平成 22 年度審査・評価の方法

(1) 予備審査：（形式審査）

必要要件の不備がないか等の形式審査

(2) 本審査（書類選考・プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

【補助対象事業の基準】 ※○か×で評価する。過半数の委員が×の場合は、選外となる。

項目	対象事業	内容
①補助金交付の公益性	チャレンジ部門 ステップアップ部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く多摩市民に開かれた事業であること ・ 事業の効果が不特定多数の市民に広く及ぶこと。サービスの対象者だけでなく、他の市民や他の地域、社会全体への「広がり」や「波及効果」が認められること。 ・ 事業あるいは本補助金の主たる受益者が、応募団体の構成員や特定の人が対象となる事業でないこと。
②事業の継続性	ステップアップ部門のみが評価の対象となります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで継続してきた事業をさらに発展させ、広げ、定着させていくことを目指した内容であること。 ・ 申請内容がイベントや調査などの単発型事業の場合でも、まずベースとなる継続事業があり、申請内容がベースとなる事業のその後の事業展開に有効であることが認められること。

【事業についての基準】 ※各委員が各項目 5 点満点で評価します。

項目	対象事業	内容
①事業の目的と効果	チャレンジ部門 ステップアップ部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的と効果が明確か。 ・ 時代の要請や社会状況、市民ニーズに即したのか。 ・ 市民の税金を使ってその事業を支援することについて、広く市民の共感が得られ応援したくなる内容か。
②実現性	チャレンジ部門 ステップアップ部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該年度の事業が、実現可能な方法、スケジュール、予算で立案されているか。
③期待度	チャレンジ部門のみが評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発送、着眼点、手法などに市民ならではの

	の対象となります。	先駆性や独創性、工夫があり、今後の展開に期待がもてる事業か。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後継続し、定着させていくことを目指す事業か。 ・ 申請内容がイベントや調査などの単発型事業の場合でも、その後の展開に有効であることが期待できるか。
④自立性	ステップアップ部門のみが評価の対象となります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本補助金が終了した後、その事業をどのように継続していくかの事業計画・資金計画が明確で妥当か。 ・ 本補助金だけに頼らない資金確保に努めているか。 ・ 自立に向けて、一般市民や他の市民団体、企業などとのネットワークを広げ、連携し、巻き込んで行く視点があるか。

【団体の基準】 ※各委員が各項目 5 点満点で評価します。

項目	対象事業	内容
①団体の適正等	チャレンジ部門 ステップアップ部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営が閉鎖的でなく、広く開かれた組織か。 ・ 申請する事業を行うにあたって適正な規模内容を保有しているか。 ・ 事業の規模に見合った自己負担能力を有しているか。

【プレゼンテーション】

関戸公民館（ヴィータ）の市民ロビーにて、公開によるプレゼンテーションを実施します。書類審査を重要視しますが、書類上読み取れない点や疑問点についてはプレゼンテーションを参考に評価します。各委員は、上記審査項目単位に素点を振り、順位を決定します。（審査委員の過半数が×の評価を付けた事業は、選外となります。）

各委員の順位を平均したものが、委員会としての『補助金交付の優先順位』となります。

審査委員(第3期)任期:平成 21 年 9 月 4 日から平成 23 年 7 月 31 日まで

※22 年度応募の審査は、第 3 期の審査委員下記の委員により審査を行いました。

委員長：松本 祐一 学識経験者（多摩大学総合研究所 准教授）

副委員長：饗庭 伸 学識経験者（首都大学東京准教授）

委員：日吉 東 学識経験者（日吉税理士事務所 所長）

委員：寺田 桂子 学識経験者（フラワーオフィス草苑代表）

委員：平野 紀美子 本補助金交付経験団体（多摩市消費者団体連絡会 副代表）

委員：佐伯 耕司 公募市民

委員：野上 健一 公募市民

平成 22 年度事業の経過

- 説明会：平成 21 年 8 月 22 日（ベルブ永山）、8 月 27 日（女性センター）にて本補助金の主旨や申請に関する説明会を開催し、延べ 4 団体 9 名の参加者がありました。
- 募集・受付：平成 21 年 8 月 24 日から 10 月 3 日まで
チャレンジ部門に 5 事業、ステップアップ部門には 16 事業（合計 21 事業）の応募がありました。
- 書類審査：平成 21 年 11 月 11 日、12 月 3 日
- 応募事業のパネル事前展示：平成 21 年 12 月 7 日～14 日
- 公開審査：公開プレゼンテーション：平成 21 年 12 月 13 日（日）関戸公民館市民ロビー
 - 各事業 8 分+質疑応 5 分（合計 13 分）で、20 事業のプレゼンテーション及び審査を行いました。
 - 応募 21 事業の内、公開プレゼンテーション前に 1 件、公開プレゼンテーション後に 2 件が申請取り下げし、18 事業総額 5,869,000 円を事業開始時に概算交付しました。



- 応募事業の実施：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- 成果報告会：平成 23 年 7 月 3 日：関戸公民館市民ロビー
18 事業の成果報告会及び情報交換会を実施。
決算額 18 事業の総合計：4,945,000 円
5 ページ以降に各団体の活動内容・自己評価表、収支決算の内訳表を掲載しています。

平成22年度 夢たま補助金（市民提案型まちづくり事業補助金）交付額・精算一覧表

（単位：円）

(チャレンジ部門)							
優先順位	整理番号	事業名 (団体名)	希望補助額(円)	希望補助率	交付決定額 (円)	決算額 (円)	応募事業内容(概要)
1	C-1	キラ★キラmamaのハッピースクール (たまじょ)	300,000	75%	300,000	300,000	育児中の母親を中心に参加型の講座を開催し、子育て時期を心身ともに元気で子どもと向き合うためのリフレッシュの時間や交流(コミュニケーション)の支援を行う。
申請 取下げ	C-2	サステナブルなまち多摩ニュータウン発信事業 (特定非営利活動法人 街づくり人づくり応援団)	300,000	72%	平成21年11月19日 申請取下げ	—	バスによる市内(施設めぐり)ツアーを開催とシンポジウムを開催して、開発の経緯を後世に伝え、持続的なまちづくりが行われていることを発信し、多摩ニュータウンの魅力を一層高める。
3	C-3	60歳からの演劇 (劇団シニア)	300,000	55%	300,000	184,000	高齢者による誰でも参加できる劇団を作り、芝居を中心とした公演を開催する。
4	C-4	Concert in 多摩 (NPOスポーツ文化国際交流協会)	250,000	24%	250,000	250,000	芸術・音楽活動を通しクラシック音楽に身近に親しみ普及と共に音楽愛好家の育成を目指す。パルテノン多摩を起点としてコンサートを開催する。
2	C-5	生涯学習を通じたまちづくりと人づくり「東京にしがわ大学」 開講へのキックオフイベント (東京にしがわ大学)	300,000	75%	300,000	300,000	何か得意なものがあれば、誰でも講師になれる。その分野で講師の登録をもらい、学びたい人と繋いでいく。今回は、活動や団体の認知度を高めるために、キックオフイベントを行う。
小計			申請件数:5件、交付決定件数:4件		1,150,000	1,034,000	
(ステップアップ部門)							
	整理番号	事業名 (団体名)	希望補助額(円)	希望補助率	交付決定額 (円)	決算額 (円)	応募事業内容(概要)
3	S-1	運動会、レクリエーション等の立案企画とその実施 (連光寺/聖ヶ丘地域スポーツ振興会)	119,000	22%	119,000	119,000	連光寺及び聖ヶ丘地域のスポーツ、及びレクリエーションの普及、振興を通じて地域住民と周辺住民のコミュニケーションと健康促進をはかる。
9	S-2	団地住民の参加する野菜畑作り事業 (楽農倶楽部)	660,000	56%	660,000	472,000	休耕地を借り受け、会社勤めをリタイヤした方を対象に、農業を通じて活力あるまちづくりにつながる事業を行う。
7	S-3	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に (聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会)	100,000	44%	100,000	100,000	季節に応じた花苗や球根の植え込み・育成を中心に花壇や法面を利用した「山野草園」の維持・管理を行う。地域住民と周辺住民を対象とした「一鉢コンテスト」や「講習会」などでこの事業への関心を高める。
12	S-4	老人・患者・障害者とその介護・看護者に笑顔と元気を！ (多摩からカーネギー実行委員会)	1,500,000	43%	300,000	300,000	高齢者・障がい者の方々を支える介護者や看護者を対象に、リフレッシュと元気を維持するために、病院等へ慰問ライブやチャリティコンサートを行う。
16	S-5	多摩に舞い降りた天女たち (和創千華)	1,447,000	59%	300,000	300,000	多摩市内の中・高・大学生を対象に、舞踏団を結成する。(仮)多摩大和撫子舞踏団をプロデュースして日本舞踊文化の流布と活性化を多摩から発信する。
11	S-6	貝取こぶし館と周辺の美化と癒しの環境づくり (貝取こぶし館 緑花委員会)	68,000	60%	68,000	68,000	地域から公募した方が、貝取こぶし館周辺(施設外)の花壇や法面等の整備と維持管理を行う。地域住民を対象に「挿木の講習会」などを実施して、この事業に対する関心と美化に対する意識を高める。
5	S-7	ホテルを蘇らせ自然環境を大切にしよう (東寺方自治会)	144,000	57%	144,000	0	自治会を中心として東寺方小学校児童、父兄などととも、ホテルの生息できる環境を保全管理していく。また、近隣地域でホテルが飛翔できる環境をふやすように努める。
8	S-8	tamaROCK(タマロック) (tama rock実行委員会(野楽))	1,500,000	58%	750,000	723,000	野外活動を通じて驚きや喜びを体験してもらおう。レクリエーション(野外体験、クラフト教室、ハンづくり)、エコ(環境保全、環境保護のワークショップ)、ライブ(野外コンサート)を実施する。
6	S-9	第23回文庫展 子どもと本の広場 -本の世界で遊ぼう (多摩市文庫連絡協議会)	220,000	54%	平成22年4月13日 申請取下げ	—	文庫活動を多くの人達に伝えるために「第23回文庫展」を開催する。 絵本の原画を見たり絵本作家の講演を聴くことで絵本のすばらしさを感じてもらいお話を通じてお話の楽しさを体感してもらおう。
1	S-10	「赤ちゃんや幼児がいる家庭の防災啓発プロジェクト」ABO (NPO法人シーズネットワーク)	411,000	60%	411,000	369,000	21年度制作した「防災ハンドブック」を基本に、「親子防災プログラムづくり講座」を開催。講座で作ったプログラムを子育て支援施設で実施する。「防災ハンドブック」で伝えきれなかった情報をHPなどで発信し、また防災意識を高める講演会を開催する。
13	S-11	市民がつくる生活安全安心マップ (NPO法人多摩サロン)	540,000	60%	540,000	529,000	バリアフリー情報、医院・歯科医院情報、介護情報などそれぞれの分野の市民団体と連携を図りコンテンツを充実していく。
15	S-12	古典芸能オモシロ講座 (多摩市古典芸能に親しむ会)	720,000	60%	300,000	259,000	古典芸能の舞台に立っているプロを招き、広く一般市民に和楽器、歌舞伎、着付けなどの体験講座を開催する。
4	S-13	実践的かつ自律的な自主防災訓練 (東寺方自治会)	120,000	60%	120,000	116,000	近隣の自治会や商工会、世話人会、敬老会など各種団体と連携して大震災を想定して非難訓練と炊き出し訓練を行う。
10	S-14	諏訪地区活性支援基地in諏訪商店街 (諏訪地区活性支援協議会)	1,342,000	60%	平成22年7月7日 申請取下げ	—	永山・諏訪地区を中心とした住人を対象に、コミュニティスペースの運営と地区全体の活性化を図り、地域ニーズに合わせた支援を行う。
14	S-15	第4回ニュージールランド・中学生語学研修 (NPOスポーツ文化国際交流協会)	1,500,000	60%	340,000	340,000	多摩市・近隣市の中学生を対象に、ニュージールランドへホームステイしながら語学研修と交流を行い、相互の異文化を体験しながら理解促進に寄与する。
2	S-16	「多摩」を音楽で溢れた街にしようプロジェクト ver5.0 (Artists Link Tama)	567,000	36%	567,000	216,000	「多摩＝音楽に溢れた街」という街のブランドイメージを内外へ積極的に発信していくために、地元の商店街や各種NPO団体との連携を図り、イベント企画や運営サポートなど行う。また市民に音楽を演奏できる場を提供するためのバンド運営を行う。
小計			申請件数:16件、交付決定件数:14件		10,958,000	4,719,000	3,911,000
応募時点			合計 21件				
審査時点			合計 20件(1件申請取下げ)		12,108,000		
交付決定 (決算時点)			合計 18件(審査後～交付決定前に2件申請取下げ)		5,869,000	4,945,000	

事業名	キラ★キラmamaのハッピースクール
団体名	たまじょ
事業の目的	子供と親、双方が楽しめる体験型講座を通じて、親子間はもちろん同じ多摩地区の同世代の子育て中の横のつながりを広げるコミュニケーション力向上を目指します。又、講座を学んだことが、家でも実践できるものを提供することで、生涯学習の原点である過程で豊かな心、自ら学ぶ力の向上を目指します、
主な事業実施内容	豊かな心をはぐくむ三本柱の講座 1. 心と身体の健康(アロマ、アート、体操) 2. 国際理解(英語) 3. 子供との関わりかた(おもちゃ) アロマ、アート、体操、英語、おもちゃ講座を各3回、計15回講座(子育て中のママと子供を対象)
参加者	214名
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> 参加型講座の為、実際に体験し、家族と習ったことを家庭でできる実践型の講座 家庭に帰ったときに、コミュニケーションをとりながら家庭内での、笑顔の時間を提供したい 親と子供と一緒に学べる機会を提供し、母親となっても子供と共に学び続ける生涯学習の大切さを再確認する。育児と育自の両立を目指した。 長い子育て時期の心身ともに元気で子供と向き合うために、リフレッシュの機会の提供する同じ多摩地区の育児ママの横のつながりの場を提供する。 講師も育児を経験した方が多いので、女性のキャリアアップ支援および、子育てママ中の社会参加への意識向上

総事業費	440,223 円
補助対象経費	440,223 円
補助額	300,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることではできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の評価は好評でした。また同じ講座に参加したい、継続したいという声が一番、多数上がった。 ・刺激を受けたり、前向きなパワーを貰ったと講評を貰った。 ・託児つき講座の声も多い
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	15回の体験型講座を通じて、親と子供と一緒に学べる場所の提供と、および母親となっても子供たちとともに学ぶ続ける生涯学習の大切さを再認識できるきっかけづくりができたと思われます。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩地区に住む、子育て世代のママの横の交流をさらに深める為に、次年度より講座のあとに交流タイムを別枠に設ける予定です。 ・子育て世代のため、(子供の病気による)当日キャンセルが多くなりがち。改善策が課題です。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
講座参加費	63,600 円	15 回分
託児費(講座参加者)	10,200 円	
自己資金(負担)	66,423 円	
夢たま補助金	300,000 円	
収入合計	440,223 円	

<支出の部>

講師料	300,000 円	2 万円×15 回
チラシ・ポスター・報告書等や印刷費、材料・消耗品等の購入費	63,633 円	チラシ・ポスター、講座準備品、郵送料
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	64,440 円	保育士
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	12,150 円	会場費、運搬費
保険料等	0 円	
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	440,223 円	

事業名	60歳からの演劇
団体名	劇団シニア
事業の目的	高齢者による誰でも参加できる劇団を作り、市内のホールを中心とした場所で、笑いを中心とした芝居を上演していくことで、お互い参加しあいながら市民の皆さんに楽しい充実した時間を持ってもらう。
主な事業実施内容	平成 23 年 2 月 14 日 公開リハーサル(無料で集客) 18 日 演劇公演「ありんす」(会場:VITAホール) コンサートを併演
参加者	150 人
事業の成果	地元からの来場者のほかに、介護施設等に配布した招待券により、たくさんの高齢者の方々にご来場いただき、笑いと感じてもらえた。 出演者が、来場者を見送る際、「とてもよかったです！」と涙をぬぐっておられる方もいらっしゃり、とてもやりがいを感じました。

総事業費	375,460 円
補助対象経費	230,460 円
補助額	184,000 円

※補助対象経費の
決算内訳は、次ページ

脚本・演出／クーベ

2011.2.14(月)
2.18(金)

開演 / 18:30 開演 / 19:00
会場：関戸公民館VITAホール
入場料：¥1,000 (全席自由)
お問い合わせ：劇団シニア 042-374-8565

夢を取り戻しに来ませんか？

50過ぎて夢を追う人たちが
後どころへ集まってきて
自分達でやれなかった夢を育てている
胸れ隠しに言い訳ばかり言いながら
なごやかに 酒と音楽を味わっている

そんな人たちがいつの間にか
Shifloと一緒に国際フォーラムに立ち
Shifloは日本レコード大賞金賞を
取ったのだからわからないものである

次は芝居
芝居をやるんだ
歳は関係ない
へたそな人ほどおもしろい

出演者募集
ま可はお電話を
042-374-8565
090-9303-1600
クーベまで

2011.2/14(月).2/18(金)
多摩市関戸公民館VITAホールにて
公演決定！

クーベ脚本・演出
「鳥とノドリのクーデター」
劇団シニア
多摩市関戸 2-39-1-1F スタンドバイキューブ
042-374-8565
(担当：クーベ)

<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	ほとんどできなかった
ほとんどできなかった理由	予定の公演回数は2回だったが、1回しか実行できなかった。
計画時に期待した効果をあげることができましたか	ほとんどあげられなかった
期待した効果がほとんどあげられなかった理由	芝居のみで公演をすることができず、お客様に満足してもらいたい一心でライブとの合同にしてしまったこと
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	劇団員の数が少なかったが、参加したメンバーはとてもやりがいがあり、これからも続けたいということになり、5月は自主で公演する予定
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	公演自体は満足しているが、そのほかのあらゆる結果はだめだったと思う。今回の経験を糧に今後の役に立てていきたい。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	来たお客様を楽しませることを大事に、これからは自主で劇団を続けてまいります。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
入場料	15,000 円	
自己資金(負担)	31,460 円	
まちづくり事業補助金	184,000 円	
収入合計	230,460 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	0 円	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	66,400 円	チラシ・ポスター印刷代、チラシ・ポスターデザイン料、衣装・着物レンタル代
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	25,000 円	美術・舞台監督費
機器類の賃借(レンタル)料等	77,500 円	音響レンタル(ミキサー・スピーカー)
イベントなどの会場等の使用料	50,400 円	公演会場費
保険料等	0 円	
その他必要な経費	11,160 円	稽古場代(公民館施設)
補助対象経費合計	230,460 円	

事業名	Concert in 多摩
団体名	NPOスポーツ文化国際交流協会
事業の目的	クラシックの音楽及び軽音楽、ポップスの普及
主な事業実施内容	パルテノン多摩を起点として、年2回(平成22年5月1日、10月23日)、プロの生の演奏を身近に楽しむ又若手演奏家等のポップス系音楽を多くの市民に楽しんでもらう
参加者	400名
事業の成果	多摩市民に完成や興味を抱いていただくことによって心豊かになる。身体・心身障害者の方達を招待し共に心豊かになる。

総事業費	604,739円
補助対象経費	604,739円
補助額	250,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ

TAMA
ガールズ
コレクション

2010年10/23日(土)

パルテノン多摩小ホール
18時開場 18時30分開演
料金: 3,000円(前売り)
3,500円(当 日)
全席自由

1部 パネルディスカッション
NPOスポーツ文化国際交流協会

2部 ショータイム
クラシック 深月美実
ピアノ 山口美穂子
ポップス 朝倉利洋 (中村幸樹伴奏)
歌謡曲 高木純緒 (高島まゆみ伴奏)
ナビゲーター 深月美実

CD
TAMAガールズコレクションにご応募頂いた方全員に、
2010年1月にデビュー、10ヶ秋歌謡コンサートに出場、
先、話題の新人純純デュオ(黒木純緒)のCDをプレゼント!

主催: 埼玉県立芸術文化センター/NPOスポーツ文化国際交流協会
協賛: 東京音楽大学/NPOスポーツ文化国際交流協会/よこはま出版美術印刷

お問い合わせ・ご案内
*TAMAガールズコレクションの開催は、パルテノン多摩にて
行われます。

パルテノン多摩 小ホール
〒206-0033 東京都多摩市東白2丁目35 TEL: 042-375-1414 19:00-22:00
URL: http://www.palte-non.jp

<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	まだオペラが広く市民に普及していないと思いました。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	今後とも多方面に努力しなければと思います。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	続けていく事

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
チケット代	120,000 円	
自己資金(負担)	234,739 円	
まちづくり事業補助金	250,000 円	
収入合計	604,739 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	290,000 円	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	197,500 円	チラシ、ポスター他
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	110,900 円	パルテノン多摩
保険料等	0 円	
その他必要な経費	6,339 円	写真代
補助対象経費合計	604,739 円	

事業名	生涯学習を通じたまちづくりとひとづくり「東京にしがわ大学」開講への キックオフイベント
団体名	東京にしがわ大学
事業の目的	何か得意なものがあれば、誰でも講師になれる。その分野で講師の登録をしてもらい、学びたい人と繋いでいく。今回は、活動や団体の認知度を高めるために、キックオフイベントを行う。
主な事業実施内容	7月10日:プレ授業「わりばしアートプロジェクト」(市民活動情報センター) 10月9日:東京にしがわ大学 みんなで開校式(パルテノン多摩)
参加者	7月:15人、10月:505人(来場者380人・スタッフ35人・先生90人) 計520人
事業の成果	東京にしがわに在住・在勤の方々が多数ご来場し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌など多数のメディアの取材掲載いただきました。また開講式当日は阿部市長にもご来場いただき、多摩市の夢たま補助金の取り組みを広く市外の方々にアピールいただきました。現在、学生と黒く数が1300人を超え現在も増加中です。

総事業費	395,511円
補助対象経費	395,511円
補助額	300,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	多摩市内での継続的な授業の開催を希望される声が多くありました。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	大変多くの皆様のご支援とご協力をいただき「開校」にこぎつけたことに感謝します。特に開校式では最悪の天候にも係わらず会場に入りきれないほどの皆様にご参加いただき、大きな力をいただきました。この感動と感謝を忘れずにあらたな活動を展開していく所存です。自己評価としてはAAAといえるでしょう。また会場・機材を無料でご提供いただきました多摩市文化振興財団様にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございます。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	団体としてのまとまりが、まだまだ未熟であり、開校式の対応などで多くの皆様からご注意を頂戴しました。多くの経験をさせていただきながら、それらを活かして、皆様に信頼されるよう取り組んでいきたいと思っております。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
販売収入	74,610 円	開校式カフェ販売売上
寄付金	5,081 円	開校式募金
自己資金(負担)	15,820 円	
夢たま補助金	300,000 円	
収入合計	395,511 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	20,000 円	プレ授業講師派遣及び物品供与謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	333,176 円	チラシ・資料印刷費、仕入食材、プレ授業準備消耗品、小道具、カフェ資材、デザイン制作費
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	31,500 円	開校式当日音響セット及びオペレーション
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	500 円	多摩市永山複合施設使用料
保険料等	3,600 円	ボランティア保険
その他必要な経費	6,735 円	物品搬入出車両駐車料、荷造り運賃、ごみ処理袋
補助対象経費合計	395,511 円	

事業名	運動会、レクレーション等の立案企画とその実施
団体名	連光寺／聖ヶ丘地域スポーツ振興会
事業の目的	「連光寺／聖ヶ丘地域のスポーツ及びレクレーション普及、振興を通じ地域住民のコミュニケーションと健康促進をはかる。
主な事業実施内容	4月3日：準備打合せ(ひじり館他) 4月18日：ハイキング大会(大谷戸公園他) 6月12日～10月9日：運動会企画打合せ・準備他(12回)(ひじり館他) 10月16日：地域大運動会会場準備(聖ヶ丘中学校校庭) 10月17日：地域大運動会(聖ヶ丘中学校校庭) 12月4日：地域大運動会反省会(ひじり館) 11月6日～2月5日：ミニマラソン企画打合せ・準備(ひじり館他) 2月11日：ミニマラソン大会 天候不良のため中止(あいさつ道路)
参加者	連光寺・聖ヶ丘地域住民および周辺地域住民 各行事参加者 ハイキング大会 76名 運動会 1,500名
事業の成果	各事業が連光寺・聖ヶ丘地域のコミュニケーションを図り、親睦高揚と健康促進に寄与した。地域の各種団体(青少協、防犯協会、コミュニティセンターなど)と協力しあいがらの運動会は地域活性のためとなる文化活動の場を提供できた。また地域との連携強化では多摩大学、聖ヶ丘小中学校生徒にボランティア活動の場を提供できた。

総事業費	356,378 円
補助対象経費	356,378 円
補助額	119,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	運動会において国士館男子新体操やよさこいの演技で感動を与え、またフォークダンスやウルトラクイズなどで地域住民の親睦と健康促進に大いに貢献できた。また今年度も有料老人ホーム高齢者の正体を実施し戸外に出て健康の維持、心の健康などを育成する交流の場として、受け入れられた。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	地域住民の特性を考えた事業を企画実施し、今後の事業継続発展への展望が見えた。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	今後住民の地域デビューのきっかけとなる事業の企画をさらに提案する。また、大栗川地域スポーツ振興会、貝取地域スポーツ振興会との連携を考えに入れた事業を進めていきたい。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
ハイキング参加費	10,500 円	
地域協賛金	190,000 円	
銀行利息	298 円	
自己資金(負担)	36,580 円	
夢たま補助金	119,000 円	
収入合計	356,378 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	28,000 円	救護員、準備体操指導、フォークダンス講師、新体操演技謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	230,879 円	コピー、切手、ファクシミリ、用紙その他消耗品
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	34,759 円	運動会用具運搬用レンタカー
イベントなどの会場等の使用料	5,010 円	会議室、キャンプ場使用料
保険料等	57,730 円	ハイキング、運動会保険料
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	356,378 円	

事業名	団地住民の参加する野菜畑づくり事業
団体名	楽農倶楽部
事業の目的	多摩市在住のリタイア住民が協働の場をつくり、環境や生活に役立つ地域事業を行う。高齢農家からの休耕地を借用し、開墾から土づくり・堆肥づくり・育苗・野菜栽培と頒布を行い、この活動の輪をベースに火の用心・バザーなど顔の見える安心・安全なまちづくり・コミュニティづくりを行う。
主な事業実施内容	4月～3月(毎週火・土曜日。7～9月は木曜日も):種蒔・苗づくり・定植、施肥、草取り、収穫と頒布 5月9日:緑のカーテンPJ準備会合(西落合小学校) 5月16日:育苗材料各学校搬入(6校) 5月19日:授業支援(種蒔4年生・大松台小学校、種蒔3・4年生・西落合小学校) 5月21日:育苗材料各学校搬入(6校) 5月24日・26日:授業支援(種蒔1年生・鶴牧中学校) 5月28日:授業支援(種蒔4年生・南鶴巻小学校) 5月28日:定植用材料各学校へ搬入(6校) 5月31日:授業支援(種蒔・落合小学校) 6月10日:ネット設置作業(落合中学校) 6月10日・11日:授業支援(種蒔3～6年生・東落合小学校) 6月30日:授業支援(定植4年生・ネット設置作業・大松台小学校) 6月31日:授業支援(定植3・4年生・ネット設置作業・西落合小学校) 7月5日;授業支援(定植1年生・鶴牧中学校) 3月10日・緑のカーテン2011準備会合(南鶴巻小学校)
参加者	①野菜作り:年間延べ約800人参加 ②緑のカーテンPJ:授業支援対象生徒数 約910人(4小学校、2中学校)、楽農倶楽部支援者数 延べ約60人
事業の成果	野菜事業では、耕作地が2,500㎡となり年間を通じた栽培が可能となり、育苗は外部協力者に委託し購入している。野菜頒布事業では、3団地にて顔の見える交流が広がり、野菜の評価は非常に高く、お母さんたちに喜ばれている。 緑のカーテンpj事業では、TOM地区小中学校6校でゴーヤの種まきから育苗・定植・カーテンづくり事業を910名の生徒を対象に行った。学校側の期待も高く来年度に向けた準備会合を既に行った。最近は、「緑のカーテンのおじさんだー こんにちは!」と声をかけられることが多くなった。

総事業費	1,620,136円
補助対象経費	786,688円
補助額	472,000円

※補助対象の決算内訳は、次ページ

<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることではできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	野菜頒布では、購買のお母さんたちが「おいしいね・ご苦労さん」活動の理解と心の交流が受け取れる。学校交流により生徒から「こんにちは」がとても多くなった。結果、校長先生から、子ども放課後教室の要請が増えている。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	地域活動の領域をわきまえ、継続は力なりを大切に多くの人たちと交流し拡大していきたい。野菜づくり・頒布・支援授業・生ゴミ堆肥化各々の立場から期待が高いことから、やりがいを感じつつ頑張っ続けていきたい。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	野菜頒布の市場事業の商品の付加価値・商品化・数量の研究。循環型活動では多摩市エコセンターとの連携により、生ゴミ減量・堆肥化のため、抗菌バケツを購入し15戸で試行開始。 また野菜栽培の場を多摩市にも確保すべく検討している。 緑のカーテン pj では、次世代を担うバトンランナーとして成長を期待するため「子供の心に種をまく」…の支援授業を継続する。

補助対象の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
販売収入	174,700 円	4月～3月の野菜売上
自己資金(負担)	139,988 円	
まちづくり事業補助金	472,000 円	
収入合計	786,688 円	

<支出の部>

人件費	157,337 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	20,000 円	地主謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	593,174 円	資料印刷・コピー代、郵送料、コピー用紙、封筒など事務消耗品、種・苗購入費、肥料用土購入費、育苗、農場及び野菜販売用消耗材
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	2,400 円	
保険料等	13,777 円	NPO活動総合保険
補助対象経費合計	786,688 円	

事業名	ひじり館を花いっぱい「和みの広場」に
団体名	聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会
事業の目的	荒れ果てていた花壇を再生して「ひじり館」の周辺を既設の花々で飾り、当館を訪れる人や周辺住民のための「和みの広場』にすると共に、地域のコミュニティの場として貢献して行くことを目的とする。
主な事業実施内容	<p>通年：花壇清掃、散水、除草等管理作業</p> <p>4月：花壇、野草園の整備、施肥、土壌改良</p> <p>5月：夏向け花苗の準備、植え付け、三溪園視察研修</p> <p>6月：樹木選定、花鉢交換いちば開催</p> <p>7月：花苗補植、草刈り</p> <p>8月：秋・冬向け花苗、球根準備、ひじり館こども夏まつり参加</p> <p>9月：ひじり館まつりへの参加準備</p> <p>10月：花苗・球根類植え付け</p> <p>11月：ひじり館まつりへ参加</p> <p>12月：花壇・野草園の冬越し準備</p> <p>1月：土壌の手入れ</p> <p>2月：春植え用肥料・用土等の準備</p> <p>3月：春植え花苗等の準備、花壇補修材料準備</p>
参加者	作業及び行事への参加者は約 50 名
事業の成果	<p>市民提案型まちづくり事業補助金の交付を受けながら、運営協議会の中では、「花壇プロジェクト実行委員会」として約 12 名のメンバーをもってこの事業を実施してきた。足かけ6年の歩みの中で、花壇や山野草園を含む周辺の整備も進み、季節に応じた花々は来館者や周辺住民の心を和ませ、ひいては地域コミュニティの場としての役割も十分に果たしているものと確信している。</p> <p>今回を最後に補助金交付は打ち切りとなり自立して行くことになるが、今後も収益確保を図りつつ当初の目的である地域貢献を果たして行く所存である。</p>

総事業費	237,224 円
補助対象経費	213,136 円
補助額	100,000 円

※補助対象の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	花づくりと一緒に手伝いと申し入れや、花苗や球根を提供してくれたなど、周辺住民の温かい支援も数多くあった。 また花の最盛期にはよく足を止めて眺めている人や、花壇の周りに設置したベンチで会話に花を咲かせている光景もしばしば見られた。花壇を埋めている季節ごとの花に興味を持ち、次にどんな花が植えられるのか楽しみにしている人も居られた。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	季節の花々を植えて来館者の気持ちを和ませると言う目的は充分達せられていると思う。また周辺住民や通り掛かりの人たちからの労いの言葉やお礼の言葉も多く聞かれ、ひじり館を中心としたコミュニケーションの輪も一段と大きくなってきたように見受けられる。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	花をベースに収入だけを以って自立するのは難しいので、これからも運営協議会の支援を受けながら、各種イベントに参画してこの事業をRRしながら収益の確保を図って行くと共に、合わせて新メンバーの参加を推進して行きたい。

補助対象の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
売上金収入	4,950 円	花いちば売り上げ金
手数料収入	48,000 円	広報紙配付手数料
自己資金(負担)	60,186 円	
まちづくり事業補助金	100,000 円	
収入合計	213,136 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	0 円	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	213,136 円	資材、用具、用土、肥料、花苗など
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	0 円	
保険料等	0 円	
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	213,136 円	

事業名	老人・患者・障害者とその介護者・看護者に笑顔と元気を！
団体名	多摩からカーネギー実行委員会
事業の目的	高齢化社会の進行とともに、老人・患者・障害者の方々を支える介護者・看護者はますます不足するものと推定され、その精神的・肉体的負担は大きなものがあります。そのような方々に音楽や演劇を通じて少しでもリフレッシュしていただき、笑顔と元気を持続するきっかけになることを目的としています。
主な事業実施内容	9月18日：高齢者施設慰問コンサート(延寿ホーム) 10月20日：高齢者施設慰問コンサート(白楽荘) 12月12日：高齢者施設慰問コンサート(和光園) 2月27日：高齢者施設慰問コンサート(まどか永山)
参加者	延寿ホーム約100名、白楽荘約100名、和光園約80名、まどか永山約40名
事業の成果	各施設の入居者の方々はもちろんのこと、その方々の介護・看護に携わる方々にこそ元気になってもらうことを期待してこの事業を始めました。 それぞれの施設での反応はきわめてよく、いずれの施設においてもおおむね満足していただけたと感じます。 「音楽と笑い」による癒しの効果は大きく、歌詞の中の1フレーズにも「気づき」があり、皆さんのその後の活動にとって少しでも心の支えになっていれうれしく思います。 そんなことから、本事業にはあえて「音楽と笑い」に優れた「プロのアーティスト」を選定したことで、一定の成果があったと評価しています。 慰問コンサートは、ややもすると出演者の”練習の場”出会ったり、”自己満足の場”であったりしがちですが、「感動」を作り出せてこそが”慰問”であろうと思う次第です。

総事業費	516,860 円
補助対象経費	516,860 円
補助額	300,000 円

※補助対象の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施して欲しい。 ・家族の方にも聞かせてあげたい。 ・癒されました！
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>施設利用者の方々以上に、その介護・看護に携わる方々を主眼に置いてのコンサートは大きな反響がありました。</p> <p>歌詞に込められたやさしさと癒しほ言葉が期待通りの効果をもたらしたものと自負しています、</p>
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	より多くのニーズにこたえるためには、より広い地域での活動が必要となり、事業資金を含め事業の在り方を見直すべきかと思えます。

補助対象の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
事業の参加者負担金	55,000 円	
事業への寄付	50,000 円	
自己資金(負担)	111,860 円	
まちづくり事業補助金	300,000 円	
収入合計	516,860 円	

<支出の部>

人件費	96,000 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	280,000 円	出演報酬・謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	2,860 円	報告書用インクカートリッジ
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	42,000 円	音響・構成・進行指導
機器類の賃借(レンタル)料等	96,000 円	ミキサー、アンプ、スピーカー等機材・楽器レンタル
イベントなどの会場等の使用料	0 円	
保険料等	0 円	
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	516,860 円	

事業名	～多摩に舞い降りた天女たち～
団体名	和創千華
事業の目的	多摩市民の身近な生活の中で、日本の伝統文化行事を楽しんでいただくための活動、及び若い方々に興味を抱いていただき、将来の人材発掘と育成を目的とするPR活動
主な事業実施内容	7月24日；総務省地デジキャンペーン地デジ音頭パレード(多摩センター三越前) 9月22日：～多摩に舞い降りた天女たち～十五夜イベント(パルテノン多摩) 10月10日～3月31日：以上のDVD作成、動画等によるPR活動
参加者	参加者延べ35名 来場数350名
事業の成果	2つのイベント共に、多摩市民の活動行事として、多摩テレビで放映されました。 総務省地デジキャンペーンにおきまして、当会員以外の多摩市民の方々と協力をイベントに取り組み、多摩の和を広げることができました。 十五夜イベントにおきましては、国際文化交流センター会員の外国人の方々、NPO高齢福祉団体の方々を始め、約350名の方々にご来場、ご観覧いただき、国際文化交流として、また誰もが気軽に楽しめる伝統文化行事(お月見イベント)を実現することができました。 翌日、ご来場いただきました13歳の女子とご祖母様よりメールを頂戴し「素敵なステージに感動し、孫が興味をもったので、ぜひ活動に参加したい。」とのメッセージをいただきました。将来の人材発掘としての目的においても効果があったと実感しております。

総事業費	613,342 円
補助対象経費	535,252 円
補助額	300,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることができましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	十五夜イベントにおいては、「普段見られないものを見せていただいた」「まるで異次元に飛び込んだような神秘的な世界だった」「美しいステージだった」というお声をいただき、ご来場いただいた方には、自然をテーマとした伝統行事をご堪能くださったと思います。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	堅苦しくない伝統文化という新たな認識、きれいなものを見たいという願望、誰でもが楽しめる無料の催し=公共性、において、ご来場者にご満足いただけたと、アンケートに手確認しております。継続することに、さらなる意義があると思っております。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	規模を組織的なものしていくための協力団体を募ること、今後においては多摩氏を超えたPRを実施していく予定です。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
賛助金	40,000 円	デジサポ 地デジキャンペーン
協賛金	100,000 円	後援会
自己資金(負担)	95,252 円	会の会費より
まちづくり事業補助金	300,000 円	
収入合計	535,252 円	

<支出の部>

人件費	95,815 円	地デジキャンペーン外部参加者謝礼、イベント設営・撤去アルバイト、着付け・ヘアメイク謝礼
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	50,210 円	太鼓・琴奏者 2 日分
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	144,157 円	チラシ・ポスター印刷代、事務用消耗品類、舞台化粧品、衣装材料、鬘、扇子、大道具類
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	132,450 円	ネット広告費、テレビ募集費、ビデオ撮影費、DVD編集およびダビング費等
機器類の賃借(レンタル)料等	12,220 円	資料作成用パソコン使用料
イベントなどの会場等の使用料	79,400 円	スタジオレンタル、リハーサル舞台使用料
保険料等	0 円	
その他必要な経費	21,000 円	琴運搬費
補助対象経費合計	535,252 円	

事業名	貝取こぶし館と周辺の美化と癒しの環境づくり
団体名	貝取こぶし館緑花委員会
事業の目的	貝取こぶし館内外の環境美化をすすめ、利用者及び地域住民の四季折々の安らぎの場となること
主な事業実施内容	4月12日～3月31日:緑花委員会 通常第2日曜日 多忙期は第4水曜日を追加 (貝取こぶし館工作室及びこぶし館周辺の花壇整備)
参加者	各回10名
事業の成果	花壇も整い、きれいな花を咲かせることができ、皆さんに喜んでいただきました。特に皇帝ダリアが咲き、ラベンダーが元気になってきました。

総事業費	154,175円
補助対象経費	119,066円
補助額	68,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることができましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	皇帝ダリアの花が咲き皆に喜んでいただいた。花壇は特に最近きれいになったと言っている。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	緑花委員の人が暑い夏、寒い冬も花の気持ちになって頑張っていた。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	こぶし館の行事に合わせて苗などを作り販売を考えている。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
預金利子	13 円	
こぶし館特別会計より	53 円	
自己資金(負担)	51,000 円	
まちづくり事業補助金	68,000 円	
収入合計	119,066 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	0 円	
チラシ・ポスターの作成費や印刷費、消耗品等	118,961 円	材料・消耗品等
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	0 円	
その他必要な経費	105 円	
補助対象経費合計	199,066 円	

事業名	学校にホタルを蘇らし、環境保全に取り組もう
団体名	東寺方自治会
事業の目的	学校でのホタルを復活させ、より住みやすい自然環境を取り戻すとともに子どもたちに命の大切さを認識させる。あわせて地域連帯の絆を強固にしたい。
主な事業実施内容	5月1日:自治会・役員会にて担当決定 5月4日:ホタル池清掃 6月7日:ホタル飛翔始まる 6月8日:ポスター作成(ホタル観賞のお知らせ) 6月13日:ポスター掲示板に貼りPR 6月30日:ホタル飛翔終了
参加者	ホタルの飛翔は夜間(午後8時以降)であり、正確な人数は把握できないが、約150名
事業の成果	今年度は、特に集会等は行わず、掲示板や各種団体での会合等でホタルの飛翔状況等をPR。自然界相手であり、また、ボランティア活動での管理の困難さから思うような成果が上がらないのが実態であります。

総事業費	0円
補助対象経費	0円
補助額	0円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	あまりできなかった
あまりできなかった理由	人的問題
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	あまりあげられなかった
あまりあげられなかった理由	プロジェクトチームを結成したが、行動を伴わなかった(自治会役員はボランティアであり、また、多くは勤務している)
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	ホテルに関する関心は高く、家族連れで見学する人も多数あった。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	事業に対する自治会役員の意識向上、つまり啓蒙活動の欠如があげられる
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	事業の継続性は役員の任期の問題もあり、多くの自治会活動の一事業としてその存続は困難を極めるものと思われる。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
自己資金(負担)	0円	
まちづくり事業補助金	0円	
収入合計	0円	

<支出の部>

人件費	0円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	0円	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	0円	
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0円	
イベントなどの会場等の使用料	0円	
保険料等	0円	
その他必要な経費	0円	
補助対象経費合計	0円	

事業名	t a m a R O C K
団体名	t a m a R O C K 実行委員会
事業の目的	野外遊び離れをしている子どもたちに、野外活動を通じて「自然の中でこんなことができるんだ!」といった驚きや喜びを体感してもらおう。子どもたちが多摩川で身体を動かし、作ることを楽しみ、野外で音楽を聴き、子どもだけでなく親子で遊ぶという共通体験をつくり、親子の信頼関係を深め地域のボランティア団体、NPO 団体との協働により、各団体のPRが地域活性につながる。地域活性とともに、地球にやさしい生活スタイルをするための気づきの場を提供することを目的とする。
主な事業実施内容	9月19日・・・tamarock(一ノ宮公園)
参加者	3,000人
事業の成果	場所を変えて初回だったので、人が集まるか、クレームがこないか等が心配だったが、高評価をいただいて、事故もなく終わる事が出来たことに満足しています。次年度は細々した問題点をひとつづつ潰して、より洗練されたイベントにしていきたい。

総事業費	1,323,150円
補助対象経費	1,298,769円
補助額	723,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	来場者より、次年度も継続して欲しいとの強い要望をいただいた。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	場所を変えて初回だったので、人が集まるか、クレームがこないか等が心配だったが、高評価をいただいて、事故もなく終わることができたことに満足しています。 次年度は細々した問題点をひとつずつ潰して、より洗練されたイベントにしていきたい。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	収入をいかにして増やすかが成功の鍵だと感じています。イベントPRをより行い、大企業からの協賛を貰えるよう手を尽くすつもりです。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
協賛金	159,500 円	企業・個人からの協賛
ブース収入	91,500 円	ワークショップ、フリーマーケット、フード
出店収入	275,800 円	やきそば、フランクフルト、ドリンク、かき氷
物販収入	41,000 円	グッズ売上
食器レンタル収入	7,350 円	レンタル食器
自己資金(負担)	619 円	
まちづくり事業補助金	723,000 円	
収入合計	1,298,769 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	150,000 円	司会者・カメラマン・アーティスト謝礼、デザイン料
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	630,695 円	チラシ・ポスター作成費、郵送料・はがき、会場設備費、出店材料費、広報費、CD制作費、地元物産購入費、イベントグッズ作成費他
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	321,720 円	ステージ、音響、仮設トイレし尿くみとり
機器類の賃借(レンタル)料等	157,374 円	楽器、トイレ洗面台・椅子・机・トラック等会場設備、かき氷機、冷凍庫、パラボラ・拡声器、ガスボンベ
イベントなどの会場等の使用料	5,200 円	施設利用
保険料等	31,780 円	イベント保険
その他必要な経費	2,000 円	当日搬入出車用駐車場代
補助対象経費合計	1,298,769 円	

事業名	赤ちゃんや幼児がいる家庭の防災啓発プロジェクトABO
団体名	NPO法人 シーズネットワーク
事業の目的	平成21年度「チャレンジ」部門の活動を経て、知りたい、知らせたいと願うところに「防災」の情報が繋がるよう、防災啓発プロジェクトを作って「当事者に届く防災啓発活動」を展開していきたいと考えるようになった。忙しい子育て生活の中でも「防災」に取り組むきっかけとなる「親子参加プログラム」をつくり、子育て支援施設で当事者世代に実施して、子育てファミリーの防災意識を高める一助とする。また、子育て中の母親がスタッフとしてプロジェクトに参加することにより、女性の社会参画のきっかけづくりも目的としている。意欲のある乳幼児を持つ母親の社会参画活動により、具体的に役立つ情報を広く啓発できる効果がある。
主な事業実施内容	4月:講師依頼、講座内容打合せ 5月:「イザ!カエルキャラバン!In東京」に応募、講師依頼、講座内容打合せ 9月:ABO通信vol.1発行。事業PR開始(チラシ・HP) 11月22日:「ちいさな命をまもるナチュラル防災講座」 12月12日:「家族でまなぶ防災ワークショップ講座」 12月12日:「イザ!カエルキャラバン!」事業PR開始(チラシ・ホームページ) 12月17日:「イザ!カエルキャラバン!」第1回スタッフ事前説明会 1月:ABO通信vol.2発行、「イザ!カエルキャラバン!」スタッフ事前説明会、「イザ!カエルキャラバン!」イベント実施 1月29日:「イザ!カエルキャラバン!In東京vol.7多摩市」実施 2月:「ボランティアまつり」PR活動、「イザ!カエルキャラバン!」反省会、第1回「防災プログラム作り」メンバー会議、多摩ボランティアまつり参加 3月25日:ABO通信vol.3発行
参加者	「ナチュラル防災講座」9世帯18名、「防災ワークショップ」9世帯20名、「イザ!カエルキャラバン!」約200名、ボランティアまつり 約90名
事業の成果	◎講座(連続2回)の開催は、子育て中の親、子育て支援者、社協職員など幅広い参加があった。参加者アンケートからは、子育て中の家庭でできる具体的な防災を学べたこと、実際に向けての決意なども記入されており、防災に取り組むきっかけを提供できた。また、講座参加者の中から乳幼児を子育て中のママが防災プログラムづくりのサポーターとして登録。来年度も活動を継続することで母親の社会参画の場になっていく可能性ができた。 ◎「イザ!カエルキャラバン!」は、従来のカエルキャラバン(「おもちゃのかえっこ」と子供でも学べる新しい防災プログラムを組み合わせたもの)に独自のプログラムとして、防災人形劇上演や親子防災講座で学んだ「新聞紙スリッパづくり」など、乳幼児のいるファミリーでも楽しく防災を学べる工夫を加えて提供できた。国士舘大学や多摩市社会福祉協議会多摩ボランティアセンターのご協力を得て大勢の運営スタッフを集めることができた。また、地域ふれあいフォーラムTAMA実行委員会に参加する他団体と交流や情報交換などができ、おおいにネットワークが広がった。東京都やNPO法人プラス・アーツともつながることができた。 ◎それぞれの講座やイベントで培ったノウハウを、「ボランティアまつり」でも結び付けることができた。また、緩やかにではあるが、「防災プログラムづくり」のメンバーが集まり、そのやりとりの中からABO通信に掲載する情報が絞り込まれ、発信されている。

総事業費	720,725 円
補助対象経費	615,246 円
補助額	369,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	子育てファミリーのニーズ:防災訓練や防災講座というだけでは、子育てファミリーの参加は難しい。他にも参加する動機があったり、楽しいイベントの中で「防災」が学べる、などの工夫が必要であることを実感した。 地域のニーズ:自治会や住民組織の防災担当者には、「防災」をきっかけにして、多世代が交流し地域の絆をつくっていききたいという流れがあり、子育てファミリーが防災活動へ参加するためのアイデアが求められている。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	3/11の東日本大震災で、改めて、「防災」を啓発しつづける必要性を実感。災害に備えることによって受ける被害が小さくなる方向を探っていく活動が必要だと感じた。その点からも等事業の必要性は大きい。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	ありません。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
補助金	180,000 円	公益信託オラクル有志の会ボランティア基金
参加費	10,800 円	講座の参加費
自己資金(負担)	55,446 円	
まちづくり事業補助金	369,000 円	
収入合計	615,246 円	

<支出の部>

人件費	109,000 円	保育スタッフ、受付・記録スタッフ、カエルキャラバンスタッフ、報告書作成スタッフ他
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	90,000 円	親子防災講座講師謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	160,577 円	印刷費、消耗品購入費
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	151,333 円	ABo 通信デザイン料・編集作業、ブログ・ABo 通信記事執筆、ポスター制作、人形劇上演
機器類の賃借(レンタル)料等	11,700 円	器材・機器レンタル、資機材レンタル
イベントなどの会場等の使用料	5,100 円	会場費
保険料等	3,500 円	イベント保険
その他必要な経費	84,036 円	通信費、振り込み手数料、「イザ!カエルキャラバン!In 東京」開催団体負担金、車両費
補助対象経費合計	615,246 円	

事業名	市民がつくる生活安全・安心マップ事業
団体名	NPO法人 多摩サロン
事業の目的	コミュニティの安寧は、生活環境の基盤整備であり、市民自ら取り組み意欲が求められる。そこで本事業は市民の手でITを利用するポータルサイトを構築し、市民に開放することを目指すこととした。平成21年度は、防犯・防災・緊急医療など「いざというとき」に役立つ情報を、他の団体と協働しながらWEB化したのに引き続き、平成22年度は、バリアフリー、介護、健康・医療情報を追加する。
主な事業実施内容	<p>4月:例会、平成21活動決算(夢たま)の承認</p> <p>5月:総会で年度計画を協議、理事会で方針決定</p> <p>6月:理事会、平成21のプレゼン案協議</p> <p>7月:定例会、理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・介護・健康・医療協議、関係団体へのアプローチの仕方協議、市役所訪問、意見交換 <p>8月:例会、理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護案作成、健康医療協議、市役所訪問 <p>9月:例会、理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度夢たま補助金審査案協議、バリアフリー協議 <p>10月:理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢たま補助金中間会計報告協議、介護案作成、健康医療協議 ・多摩大生をバリアフリー現地調査担当者に決定 <p>11月:バージョンアップ、バックアップ手順確率</p> <p>「これからの介護について」講演会</p> <p>12月:例会、ピクトグラム決定</p> <p>1月:例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフト開発仕様協議発注、ピクトグラム発注 <p>2月:理事会、介護ページ案協議</p> <p>3月:例会</p> <p>学生による調査続行</p> <p>理事会</p> <p>データベース改善確認</p> <p>発注ピクトグラムの納入、開発ソフト納入、各ページ完了</p>
参加者	
事業の成果	<p>22年度は、上記3分野の情報を新たにWEB化した。その結果、予定された程度のWEBサイトがおおむね構築できたものと思われる。</p> <p>しかし、この種サイトが機能を発揮できる新の成果とは、開発サイドの判断ではなく、それを利用する一般市民の評価にかかっている。この点で、現時点ではいまだ完成したというものでなく、プロトタイプができたというレベルといえる。今後行政、市民の意見や評価などを取り入れながら、暫時改善を進め、内容の充実を図っている必要があると考える。</p>

総事業費	1,000,000 円
補助対象経費	883,085 円
補助額	529,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、
次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	あまりあげられなかった
あまりあげられなかった理由	<p>サイトのプロトタイプとしては、ほぼ予定通りに完成したが、当初考えていた教育・訓練、周知へのサポーター要員が、時間的、経費的制約のため後年度まわしにならざるを得ない状況となった。</p> <p>このため、市民の手によるサイトの質の向上、利用の普及を図るとの目標が達成できなかった。</p>
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	<p>開発サイトとしては、市民のニーズが高いものと期待しているが、今後システムを整備公開のうえ、市民の意見や指摘を取り入れ、修正することによって、目的にかなう内容にしていきたい。</p>
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	<p>ハード事業のごとく、事業が終了すれば完成という性質のものではなく、市民のニーズにできるだけ適合させるよう努力を続け完成させていく必要がある。</p> <p>しかし、サイトを維持・管理するには、その担当と経費が問題である。</p>
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	<p>21年度、22年度の2年間市から補助金を得て、救急医療、防災、防犯、介護、バリアフリー、健康・医療の分野の生活安全・安心にかかわる情報を掲載したWEBサイトを構築した。しかしながら、時間と経費の制約からこれはいわばプロトタイプが完成したに過ぎない。今後行政、市民の意見を取り入れながらサイトの充実を図りまた普及活動を繰り返し真に市民の利便に供するようにすることが望まれる。</p>

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
自己資金(負担)	354,085円	
まちづくり事業補助金	529,000円	
収入合計	883,085円	

<支出の部>

人件費	140,000円	調査票記入・写真撮影、調査データの投入
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	39,500円	講演会講師謝礼、講習会参加費
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	105,779円	パソコン関連費、文房具、学習資料、通信費他
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	551,000円	HP作成技術支援、ソフト開発、ピクトグラムデザイン、イラストデザイン
機器類の賃借(レンタル)料等	27,430円	PTRレンタル料
イベントなどの会場等の使用料	17,750円	会場費
保険料等	0円	
その他必要な経費	1,626円	振り込み料
補助対象経費合計	883,085円	

事業名	古典芸能オモシロ講座
団体名	多摩市古典芸能に親しむ会
事業の目的	我が国に古くから伝わる優れた文化である古典芸能を広く一般市民に体験してもらうことで市民の文化でい向上を図る
主な事業実施内容	1月8日:着付け講習会 3月30日:歌舞伎オモシロ講座(会場の都合により中止)
参加者	52名(うち18名)
事業の成果	浴衣から正式な子どもの七五三の着付けを講習。帯の締め方など続けて講習して欲しいという参加者が多く好評だった。 3月30日実施予定だった「歌舞伎オモシロ講座」は、震災の為、公民館が使用できず中止。経費は発注済みのものはかかった。

総事業費	432,933円
補助対象経費	432,933円
補助額	259,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	あまりできなかった
あまりできなかった理由	交付金額が少なかったため。 地震の為に会場が使えず、一つの事業を中止。
計画時に期待した効果をあげることではできましたか	あまりあげられなかった
あまりあげられなかった理由	地震の為
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	着付け教室についてはもっとやってほしいということでした。歌舞伎も反応が多かったので中止になって残念でした。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	実施した事業についてはよかったと思う。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	ニーズはあるので体験型にして料金を徴収する。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
事業の参加者負担金	17,000 円	500 円×34 名
協賛金	50,000 円	
自己資金(負担)	106,933 円	
まちづくり事業補助金	259,000 円	
収入合計	432,933 円	

<支出の部>

講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	260,000 円	着付け謝金、歌舞伎謝金
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	30,333 円	用紙代、コピー代
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	60,000 円	かつら制作料
機器類の賃借(レンタル)料等	80,000 円	衣装借料
イベントなどの会場等の使用料	2,600 円	会場費
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	432,933 円	

事業名	実践的かつ自律的な自主防災活動
団体名	東寺方自治会
事業の目的	広域災害での対応力を自治会の自律的な力でアップさせ、その経験を蓄積することによって、地域の有事に活用する。
主な事業実施内容	5月1日：自治会・役員会にて担当者決定 9月25日：防災会議 9月30日：掲示板にポスター貼る 10月13日：防災訓練の案内書配布 10月31日：防災訓練実施（東寺方中央公園）
参加者	140名
事業の成果	今年度の防災訓練は、前日の台風14号の接近で開催が危ぶまれたが、小雨決行の中で実施され、140名が参加した。 今回の訓練の特色は、他からの一切の応援が期待できないことを想定し、避難見っは一人一品を持参し、4班に分かれて中央公園に参集し、持参した品物で炊き出しを行った。

総事業費	193,910円
補助対象経費	193,910円
補助額	116,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	防災訓練の自意識の欠如
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	組織力の欠如、PR 不足
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	プロジェクトチームの選定、組織力の活用、防災品の備蓄

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
自己資金(負担)	77,910 円	
まちづくり事業補助金	116,000 円	
収入合計	193,910 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	0 円	
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	180,810 円	メガホン、のぼり竿、スタッフ用帽子
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	0 円	
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	0 円	
保険料等	13,100 円	保険料
その他必要な経費	0 円	
補助対象経費合計	193,910 円	

事業名	ニュージーランド中学生語学研修
団体名	NPOスポーツ文化国際交流協会
事業の目的	日本のそして多摩市の将来を担う子供たちに早くから国際感覚を持たせ感性豊かな人材を育てることが、この事業の大きな目的であり夢です。子どもへの投資は目先にとらわれなくて、長期的な視野に立つことが必要です。直接研修に参加できない子供たちにも、参加者の海外体験報告を聞く中から、将来夢の実現に向けて行動を起こすきっかけになれば、この研修の意義が倍増します。
主な事業実施内容	5月8日・15日、6月5日：説明会 7月10日～31日：事前研修会 8月4日～24日：留学研修会 11月25日～27日：事後報告会
参加者	生徒11名、指導員2名
事業の成果	参加人数は我々が期待したほどではありませんでしたが中味(20日間)大変有意義で帰国の日はホームステイの家族と別れの際、涙が止まらないほど素晴らしい研修でした。

総事業費	614,306円
補助対象経費	614,306円
補助額	340,000円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ

**語学研修をしながら
楽しもうスポーツと文化!!**

～ニュージーランド・ハミルトン市で～
～楽しいホームステイ～

参加者募集中

平成22年
実施：8/4(水)～8/24(火)

対象：中学生(小学生・高校生もぜひご相談下さい)

費用：340,000円(航空運賃、燃油費、現地研修費、ホームステイ費など)

募集人員：20名(先着順)最少催行12名

説明会：6/5(土)・6/19(土)午前10時
多摩市・総合体育館会議室

主催 NPO スポーツ文化国際交流協会
協賛 多摩市教育委員会
現地支援 ヤング・インターナショナル・ランゲージ・アカデミー
航空旅行手配 ゆうゆうファースト

※この研修は「多摩市・市民就業促進まちづくり事業」の対象になっています。

資料請求先 042-374-0809 (FAXとも朝倉)

第4回NZ語学研修実施報告書

～ニュージーランド国・ハミルトン市～

企画 - ヤング・インターナショナル・ランゲージ・アカデミー
実施 - シルバデール・ノーマルスクール

平成22年8月4日～8月24日(20泊21日間)



主催：NPO スポーツ文化国際交流協会
後援：多摩市教育委員会
支援：多摩市くらしと文化部「捜索型まちづくり事業」
協力：NPO 留学協会

<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	できた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	期待した効果があげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	まだまだ事業についてのPRが足りないと思いました。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	希望より人数が少ない結果ですが実施できたことはよかったと思います。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	認定法人申請ができるようになり来年が楽しみです。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項 目	金 額	内 容
自己資金(負担)	274,306 円	
まちづくり事業補助金	340,000 円	
収入合計	614,306 円	

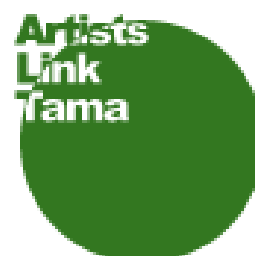
<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	180,000 円	事前研修会、事後報告会講師謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	323,000 円	チラシ・ポスター代、広告代、申込書・報告書印刷代
機器類の賃借(レンタル)料等	0 円	
イベントなどの会場等の使用料	7,200 円	会場費
保険料等	0 円	
その他必要な経費	104,106 円	パネル、写真、文具他
補助対象経費合計	614,306 円	

事業名	「多摩」を音楽で溢れる街にしようプロジェクト Ver 5.0
団体名	Artists Link Tama
事業の目的	<p>我々は「多摩の音楽」を起爆剤として、まちづくりを支援していきたいと考えております。現在、多摩市内で数多くのまちづくりのための事業が行われています。一つ一つの事業は、それぞれ成果を上げているとは思いますが、主催や所管がことなることで、横のつながりに乏しく、街全体の、そして継続的な置きなうねりとまでは至っていないように感じています。その原因は、一つには事業・団体間の横のつながり/ネットワークの不足、もう一つには多摩として人を呼び込むような共通のアイデンティティの不明瞭さ、です。</p> <p>そこで我々は、「多摩の音楽」を一つのアイデンティティとして内外へ積極的に発信していくことで多摩像を創り上げ、かつその「多摩＝音楽に溢れた街」というイメージを、地元の各団体の事業にどんどん活用化していただけるような横のつながり/ネットワークを構築していくことを最大の目的としております。</p> <p>具体的には、まず我々が主体となって、商店街をはじめとする団体と連携しながら、地元音楽家や、ミュージシャンを終結したイベントを実施し、多摩の活性化を支援します。</p> <p>また現在行われている、あるいはこれから新たに行われる数多くの事業にも「音楽」を活用して集客効果をあげていただけるように協力していきます。</p>
主な事業実施内容	<p>4月～3月:ビッグバンド練習、スタッフ打合せ、運営会 6月25日、8月5日:多摩センター夏祭り2010 打合せ 7月10日:永山フェスティバル説明会 8月:こぶし館全館解放DAY、ハートフルコンサート アーティスト出演交渉 8月15日:多摩センター夏祭り2010 サマージャズフェスティバル出演 9月26日:永山フェスティバル出演 10月30日:日野第一中学校演奏会 11月6日:せいせきハートフルコンサート 1月15日:多摩スウィングジャズオーケストラ定期演奏会 2月27日:福祉フェスタ出演</p>
参加者	約 1,000 名
事業の成果	<p>今年度の成果として、大きく二つある。一つはビッグバンド運営を円滑に進められ、市民の方に向けた成果発表ができ、バンドとしても自律の報告制が確立されてきたこと。もう一つは自主イベント開催のノウハウ蓄積とまちづくり活動への関わり方の報告性である。ビッグバンドは4回目の定期演奏会を開催したことと、日々の練習の成果が伝わり、社会福祉協議会からのお誘いや、昨年同様の中学校での演奏会への出演依頼、永山フェスティバルでの大トリを2年連続で務めるなど多くの方々にスウィングジャズを楽しんでいただけた。2011年1月15日に開催した第4回定期演奏会では、昨年につき、有料化したにも関わらず、150名を超えるお役様がヴィータホールにご来場いただいた。</p> <p>一方、活動・補助金申請から5年が経過し、イベント開催のノウハウは確立されてきたが、今年はイベント開催の回数が昨年よりは減少している。それには関わる人の時間的余裕がなかったということもあるが、まちづくりの報告性が変化していることも考えられる。これからは、アーティストリンク多摩の活動もたいせつにしながら、個々人の活動から、街づくり・街づくり団体の方向性・在り方についても新たな道を進んでいきたいと考える。</p>

総事業費	562,585 円
補助対象経費	562,585 円
補助額	216,000 円

※補助対象経費の決算内訳は、次ページ



<自己評価>

事業は申請(計画)どおり実施できましたか	概ねできた
計画時に期待した効果をあげることにはできましたか	概ねあげられた
事業に対する市民ニーズ(利用者ニーズ)はどのようなものがありましたか。	昨年同様、質の高いパフォーマンスに対しては高評価を得たと考える。また、音楽やイベントがそのニーズのすべてではなく、まちづくり、イベントの集客などの一つのきっかけであると考え。
今回の事業について、どのように自己評価していますか。	イベントの実施・運営等のノウハウは市民団体としては、十分蓄積することができつつあると評価している。また、音楽を楽しむ場の提供として、ビッグバンドの運営も一般的な社会人バンドとは異なり、当団体がプロデュースを手がけることで、場の提供だけでなく、地域への還元活動へも目を向けることができた。今年度は出演依頼も増え、バンド単体としても認知度が高まってきた。活動5年目ということで当団体が認知されてきていることによる音楽活動・イベント以外のまちづくり活動等への依頼も増加しつつあり、地域に根差した活動となっていると評価する。
事業の自立に向けて、事業の改善点やより進めることはありますか。	最終年度ということで活動も安定化してきた。また、ビッグバンドは非常に優良なコンテンツに成長し、地域に根差した愛されるバンドとしてこちらも自立した活動に入りつつある。この補助金を卒業してからの今後の街づくり活動については、今までのノウハウを生かしつつ、音楽のみならず、さまざまな分野に少しずつ展開していければと考える。

補助対象経費の決算内訳

<収入の部>

項目	金額	内容
チケット代	50,500 円	1 月 15 日イベント
運営委託費	120,000 円	11 月 6 日イベント
会費	176,000 円	ビッグバンドメンバー会費
自己資金(負担)	85 円	
まちづくり事業補助金	216,000 円	
収入合計	562,585 円	

<支出の部>

人件費	0 円	
講師・専門家、出演者等への報酬・謝礼	148,000 円	アーティスト謝礼
チラシ・ポスター・報告書等の作成費や印刷費、材料・消耗品等の購入費	153,925 円	コピー代、チラシ・ポスター
専門的知識・技術等を要する業務を外部に委託した費用	79,700 円	音響オペレーター、記録費用
機器類の賃借(レンタル)料等	36,960 円	アンプレンタル
イベントなどの会場等の使用料	141,900 円	施設利用料
保険料等	0 円	
その他必要な経費	2,100 円	著作権利用料
補助対象経費合計	562,585 円	